

ファッション
One Point
アドバイス

雨の季節の
レインブーツ

絵画の中の洗濯風景

アイロンをかける女たち



エドガー・ドガ作 (1884年) 部分

19世紀のフランスの画家であるエドガー・ドガは、パリ・オペラ座のバレダンサーを描いたパステル画などで知られています。ドガは裕福な銀行家の家に生まれた人ですが、当時のパリの日常生活の中で女性たちの表情を切り取った作品を多く描いています。華やかに見えるバレエであっても、舞台裏での幼い踊り子の緊張した表情や疲れた姿の一瞬をとらえています。

「アイロンをかける女たち」(Les repasseuses)と題されたこの絵では、職業としてシャツらしい衣類にアイロンをかけている女性たちの情景を描いています。一人の女性は力を込めてアイロンを掛けており、もう一人の女性は大きく口を開けてあくびをしています。また、この女性は右手にワインボトルらしい瓶を持っています。作業中にワインを飲んで怠けているだらしない女性と見る批評家もいるようですが、この当時は「パリ改造計画」が完成し、それまでセーヌ川で洗濯していた洗濯業が禁止されたことによって、洗濯業の近代化が進められていた時期ですから、おそらく、作業に疲れて水を飲んで一息入れているところなのでしょう。当時の洗濯業は重労働でした。

6月5日から20日頃までを二十四節気では「芒種」といいます。稲や麦など穂をつける植物の種をまく時期で、この辺りから雨空が増えてきます。この時期の「末候(6/16~6/20頃)」は、「梅子黄」と書いて「うめのみきばむ」と読み、文字通り梅の実が黄色く色づいて熟する頃の意味。この頃に長雨が続きため、「梅雨」という言葉が生まれました。雨が続き芒種のこの時期、皆さんはレインブーツが気になりませんか。



最近のレインブーツのトレンドは、中途半端な丈ではなく、ショートかロングかのどちらかです。人気は何と言っても、ラバーブーツの老舗「ハンター」と「エーグル」でしょう。機能性、デザインともに申し分のないレインブーツ。定番中の定番です。

こちらの二大ブランドのレインブーツは、物によっては革靴以上の価格のものもあり、タウンユースだけでなく、キャンプや音楽フェスなどアウトドアのアクティビティーでも十分に使える優れたもの。コーディネート幅が広がり、お洒落さをアピールできる一品です。一生ものという気持ちで購入すると良いでしょう。ただもう少しお手頃な価格で、気軽に使えるものが良ければ、すっきりとしたデザインが人気の「ダフナ」「ウーノ」や、たためるレインブーツで人気の「ディッキーズ」などは、4千~5千円で購入できます。

くらし応援ニューズレター

HomeDry News

ホームドライニュース No. 85



ファッション・ワンポイント: 雨の季節のレインブーツ
絵画の中の洗濯風景: 「アイロンをかける女たち」エドガー・ドガ
衣類のケア講座: 綿素材などにカビが繁殖しやすい
衣生活の知恵: ポリ袋は必ず取り外して保管してください

まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ
<http://homedry.or.tv/>

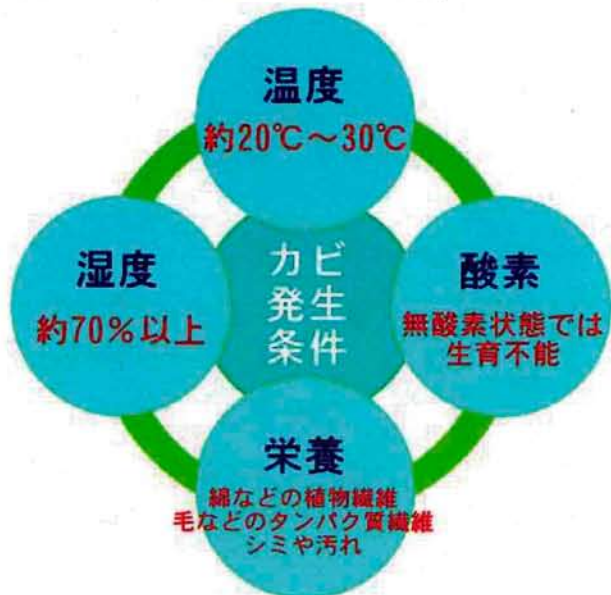


衣類のケア講座

綿素材などにカビが繁殖しやすい

カビ（黴）は俗称で、菌類や微生物の集落（コロニー）のことを一般的にカビと言っています。カビの種類も黒カビ、青カビなどと色によって呼ばれますが、これも俗称で、菌の種類を意味する言葉ではありません。

養分を吸収して成長する真菌類であるカビの種類は約 70,000 種類以上もあるといわれており、日常的に空気中に浮遊しているのです。



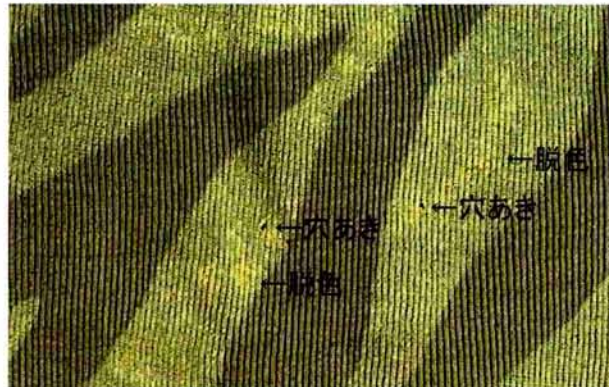
ほとんどの真菌類は、①温度 20℃～30℃、②湿度 70%以上、③酸素、④栄養（動物タンパク、植物繊維素など）の条件が整えば、どんなところでも活発に繁殖するといわれています。

カビは、栄養になる綿繊維などの植物系繊維に繁殖しやすく、繊維を酵素を出して分解し、養分として吸収して成長します。



綿のコートに発生しているカビ(紫外線照射写真)

ポリ袋を掛けたままなど湿気のためやすい状態にしておけば、クリーニング後であろうと、綿繊維を養分にして繁殖し生地や染料を分解して損傷や脱色事故になったりする場合があります。



汚れたまま収納していると、ますますカビは繁殖しやすくなります。大切な衣類は必ずクリーニングしてから通気性の良い状態で保管してください。



ポリ袋はお渡し用 必ず取り外して 保管してください

ポリ袋は、仕上がり品をお渡しするまでにホコリや汚れが付かないように衣類を保護するためのものです。

通気性のないポリ袋は、湿気を閉じ込めてしまいますから、クローゼットに収納する際は、必ず取り外してください。

ポリ袋を掛けたまま保管していると

大切な衣類に悪影響を起こしてしまいます。特にダウンジャケットや中綿衣料品は、フィルム透過性の酸化窒素ガスという酸化力の強いガスがポリ袋から出られない湿気と結びついて、ガスに接しやすい袖や裾の部分の色が退色してしまいます。また、樹脂コーティング品などは、湿気によって樹脂の分解が進み、ベタついたり剥がれたりすることもあります。

仕上がり後は、なるべく早くお引き取りいただき、必ずポリ袋を取り外して通気性の良い状態で保管してください。

